

【学校教育目標】

心豊かに 21世紀を たくましく 生き抜く生徒

～20年後、地域や社会を担う人財の育成～

① 心豊かに 21世紀を ② たくましく ③ 生き抜く 生徒

～20年後、地域や社会を担う人財の育成～

- ④ ⑤ ⑥
- ① 四中魂の3つの心(燃える心、奉仕する心、感謝する心)
 - ② 元気、強い、少々のことではくじけない、苦しいことにも耐える、何事にも果敢に挑戦する
→どんな困難に直面しても逃げずに立ち向かう強さ
 - ③ 「生きる」と「生き抜く」の違い→ぼうっとしていても生きていける×
→夢を諦めずに突き進み、好きなことを楽しんで、やりたいことを全部やり切る生き方
 - ④ 35歳
 - ⑤ 人は「宝」であり「財産」である→代えのきかない、欠かせない存在
 - ⑥ 「育てる」から「育つ」へ→生徒が自分で育っていける環境を整える(役割、場面、場所など)

「四中魂を大きく育て、どんな困難にも立ち向かい、夢に向かって全力で取り組んでほしい。
そして、20年後には『地域や社会になくてはならない存在』として活躍できる人になってほしい」という願いを込めて設定

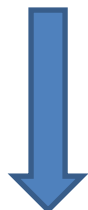
<部活動で身につける「3つの心と3つの力」>

3つの心＝燃える心、奉仕する心、感謝する心＝「四中魂」

3つの力＝強育力：個々が持つ「強みを育てる」「強みを磨く」＝個の力UP

今日育力：「昨日より今日、今日より明日」と日々成長を目指す

共育力：「仲間とともに育つ、育てる」ことでチーム力をUP



けやきの木のように大きく成長し、21世紀をたくましく生き抜く生徒を育成